

八王子の名刀

武州下原刀

下原刀「したはらとう」とは、八王子市下恩方、横川元八王子などに住み、山本姓を名乗る下原鍛冶といわれる刀工達が製作した刀剣類の総称で、八王子市の郷土刀です。そもそも下原鍛冶は、室町時代末期に大石氏の招きに依りて武州市下恩方あたりに居住した山本周重（ちかしげ）を祖とします。その後、大石氏に変わってこの地を支配した北条氏の庇護を受け、さらに北条氏滅亡後は、徳川氏の御用鍛冶として幕末まで鍛冶が続けられました。下原鍛冶江戸時代になつて、下原鍛冶一門は、苗字帯刀麻袴の着用を許され、栄華を謳歌しました。



う実戦用に作られた刀で、身が厚く美しさに欠けるためと言われ、曲がらず、刃こぼれしないという、日本刀本来の武器としての性能を見事に具現化しています。武器としての機能を極限まで追い求めた、実戦本位の作風が、室町時代以来、武家の支持を受け続けられた理由なのでしょう。8月20日に八王子宿まち・なかギヤラリーで武州下原刀の展示会が催されました。の見学会は、催し方も多かったです。



下原刀発祥の地碑



デラウエア

山形県ぶどう栽培の歴史

山形県のぶどう栽培の歴史は、かなり古くからあり、江戸時代からぶどう栽培が始まりました。江戸時代後期には、ぶどう栽培が盛んでした。明治に入り、米よりも「デラウエア」になり、米よりも高値が付いてぶどう栽培が盛んになりました。現在では山形県の生産量になりました。



シャインマスカット

ぶどうは、好みます。日照が十分にあり、昼夜の温度差が大きいので、成熟の温雨が少なく、成熟の条件に山形県は満たさず、勝沼地方と比べると、栽培条件が揃っていません。山形県で栽培される主な品種は、ぶどうの王様と高尾や安芸クイーンなど、品種が豊富です。そして注目品種が長年培われた栽培のスキルを活かした最高の完成させました。

さくらんぼ・スイカ・ぶどう・ラフランス・つや姫

ザ・ワイ・ユースクラブ

the. Y. youthclub

山形の最高級品をお届けします。 問合せ:セブンヒルズ株式会社 tel:042-646-9934